

# PDCAサイクルにつなげる 院内ラウンドの実践

旭川医科大学病院

医療安全管理部

林 達哉、小山内 美智子、北川 佳奈子、古川博之

## 取り組みの概要

安全管理に関する職員への教育・研修やマニュアルの変更後、院内ラウンドを行い手順を理解し実践しているか観察した。

## 取り組みの背景

情報発信している内容が生かされていず、同様のインシデントが発生していた。

# 院内ラウンドの実際

以前は安全管理部員による定期的な  
年1~2回のラウンド

+

昨年度より以下のラウンドを追加

**適時ラウンド(PDCAラウンド)**を2か月に1回行う。

- ①情報発信時(マニュアル改正など)
- ②医療安全に関する研修後
- ③事例発生後などPDCAサイクルを意識し

**多職種RM**(薬剤師、検査技師、看護師その他)で  
院内ラウンドを行う。

# 情報発信事項抜粋

## \* 転倒転落予防行動の強化

- ・環境整備
- ・転倒転落予防DVD視聴
- ・先取り介入
- ・履物アセスメント
- ・排泄などの先取り介入

## \* 救急カート薬剤の薬剤師によるチェック

## \* 輸血管管理状況

## \* ハイリスク薬変更後の在庫状況

# 主な医療安全に関する研修内容

\* アラーム関連医療事故防止

& 注意すべきモニター心電図波形

ドレーンチューブ類のケアの1・2・3

\* 最新の糖尿病治療

ー 経口糖尿病薬とインスリンのポイントー

インスリン使用のケア3つのポイント

\* ME機器セミナー

**最新の糖尿病治療**  
～経口糖尿病薬とインスリンのポイント～  
インスリン使用中のケア  
3つのポイント

講師: 第二内科 糖尿病内科 講師  
安藤 正 先生

日時: 8月11日(火曜日)  
17:45～19:00

対象者: 全職員  
場所: 臨床第一講義室

この研修の参加にはシールが配布されます  
医療事故防止対策委員会 事故防止啓発部会

2015年度医療安全研修

1) アラーム関連医療事故防止  
& 注意すべきモニター心電図波形  
\* 化学療法時のモニター観察も含めて

2) ドレーンチューブケアの1・2・3  
\* 管理と固定のコツ

講師: 第一内科副科長  
藤田 先生  
集中ケア認定看護師  
看護師長

日時: 8月14日(金曜日)  
17:40～18:50

対象者: 全職員  
場所: 臨床第一講義室

この研修の参加にはシールが配布されます  
医療事故防止対策委員会 事故防止啓発部会

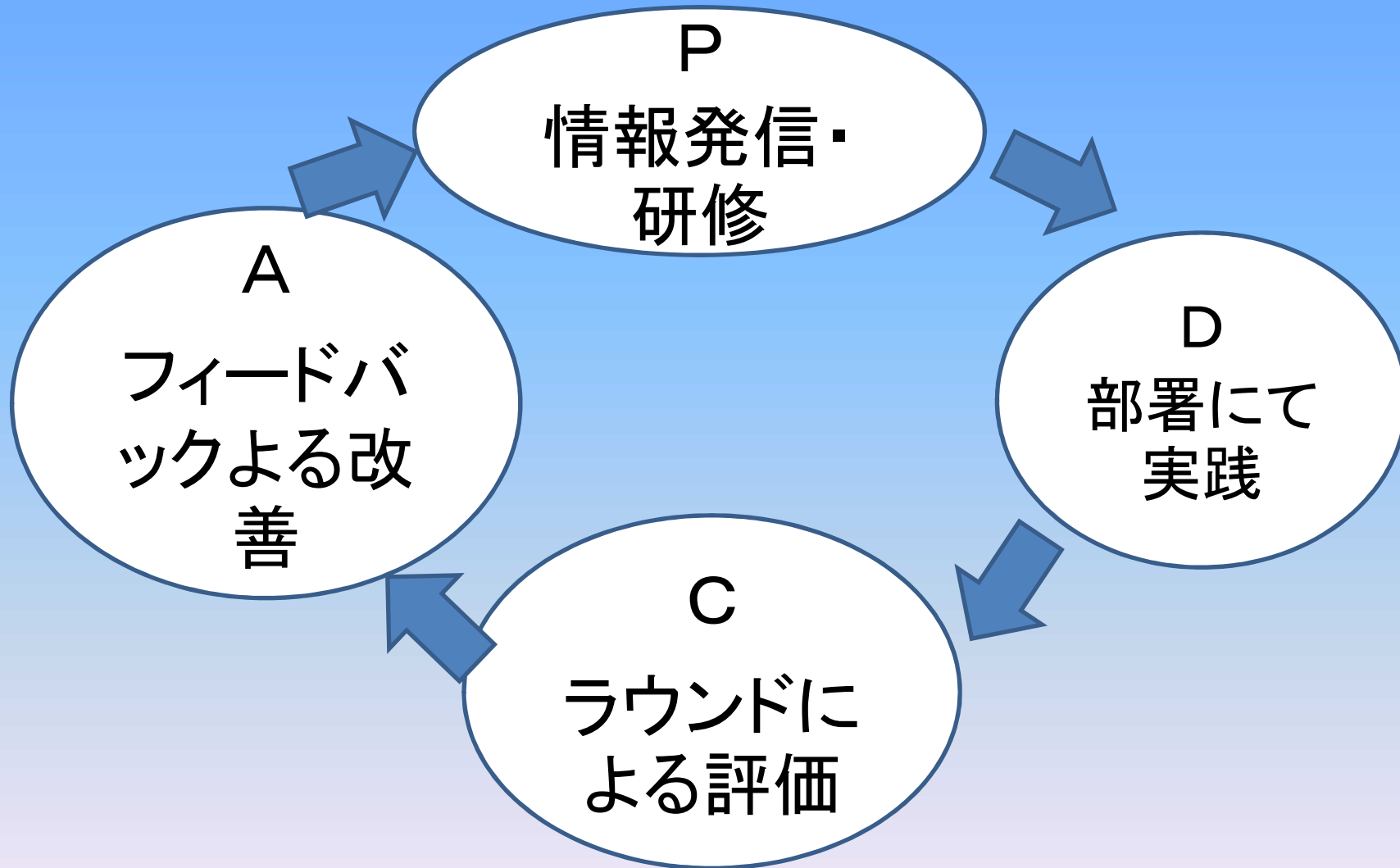
# 主な適時ラウンドの項目

- \* 注射の作成・実施の確認
- \* 転倒転落予防の取り組み
- \* 患者誤認防止
- \* 薬剤の適正管理
- \* 救急カートの適正管理
- \* 輸血の適正管理
- \* アラーム・ナースコール対応など

# 適時ラウンドの実際

- ①部署へラウンドの目的と大まかな期間を前もって知らせる。
- ②看護師GRMと部署RMとともにラウンドする。
- ③ラウンドは客観的な評価ができるように、患者からのききとりや実践状況を確認する内容とする。
- ④ラウンド時に結果を部署RMにフィードバックする。フィードバック後に部署RMと部署の特徴などを話し合い改善点などを検討する。
- ⑤他部門の状況も含め院内ラウンドの結果を委員会にて開示する。
- ⑥一度のラウンドで評価するのではなく、継続して同じ項目内容をラウンドする。

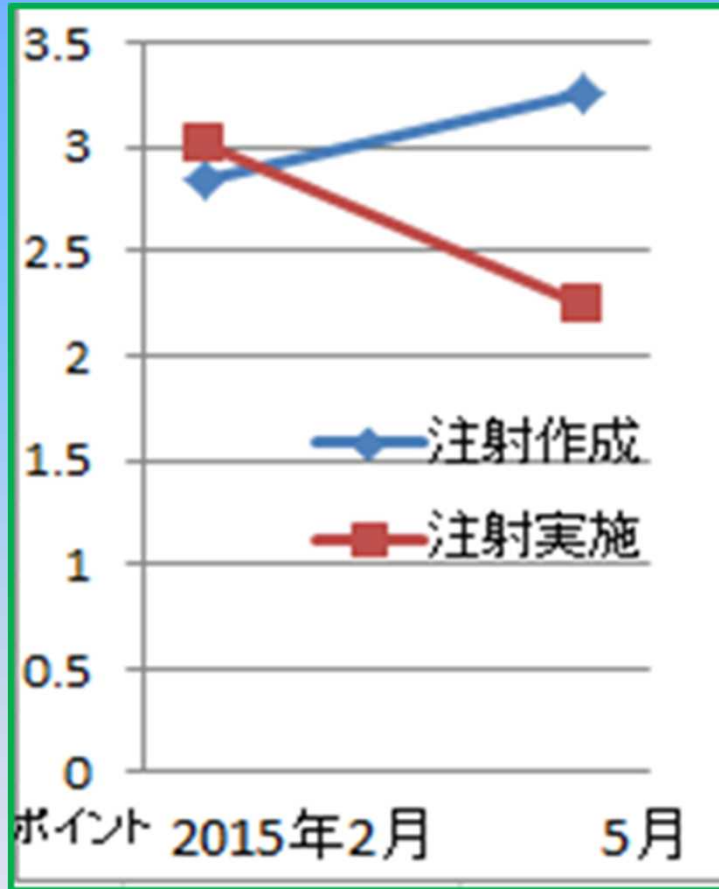
# 適時ラウンドにおけるPDCA





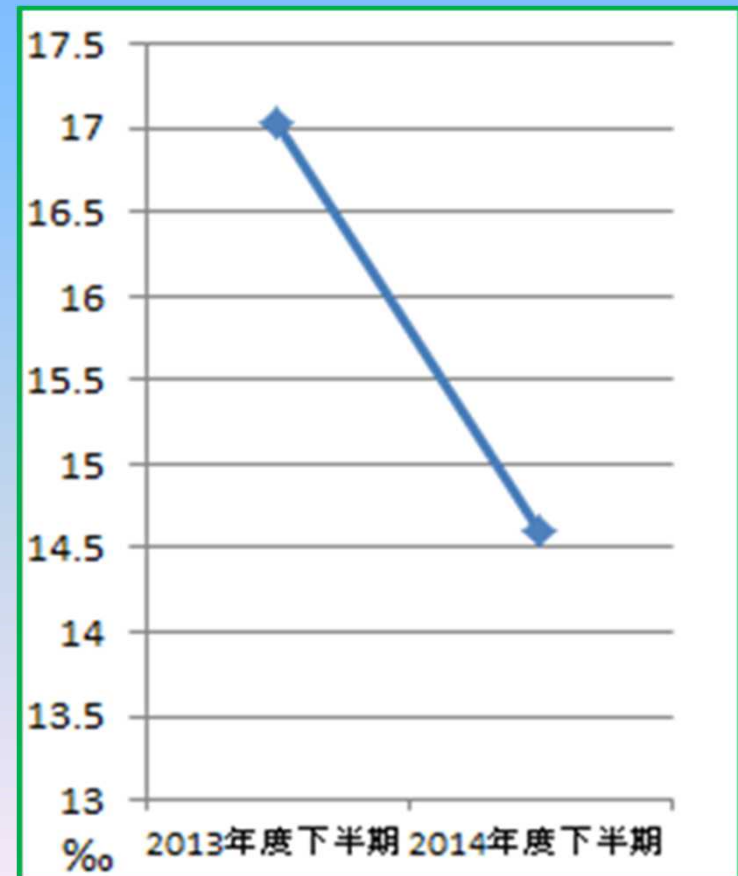
# 適時ラウンドの結果

## 注射作成・実施時の確認



4段階評価とし、4:100%実施 3:80%実施  
2:50%実施 1:30%以下実施

## インシデント事例発生割合 (在院患者延べ数に対する)



# 適時ラウンドの評価

- ①部署RMへフィードバックし検討することで、現状の要因を考え更なる改善へ変化している。
- ②院内巡回の結果を他部署と比較し部署のモチベーションアップに繋がる。
- ③研修や情報発信後にラウンドを行うことで、PDCAサイクルにつなげることができる。
- ④部署RMとラウンドすることで専門的視点からのフィードバックが可能であり、他部署の実際を知り、チーム医療を促進する機会となる。
- ⑤研修での学びが部署にフィードバックされているかをラウンドでは全てを評価することは難しい。